

会 議 録		
附属機関又は 会議体の名称		第4回 男女平等推進センター運営委員会
事務局(担当課)		男女平等推進センター
開催日時		令和 6 年1月18 日(木) 午後3時～5 時
開催場所		男女平等推進センター研修室 2
出席者	委員	堀江 咲智子 林 千鶴子 梅山 浩 山本 和子 大越 将良 須藤 啓光 高橋 あかね 原田 敏郎 濱口 恵子 松本 憲藏 矢口 節子 男女平等推進センター所長
	事務局	3 名
会議公開の可否		<u>公開</u> ・非公開・一部公開 傍聴人 0名
非公開・一部公開 の場合はその理由		
会議次第		議題 1 事業報告および今後の予定について 2 エポック 10 フェスタ・プレフェスタ 2024 について ・第 2 回エポック 10 フェスタ実行委員会の報告について ・運営委員会のフェスタ参加について 3 今後の運営委員会開催日程について 4 連絡事項 ・としま街なかすずらんサポーターのご案内
審議経過		
委員長 令和5年度第 4 回男女平等推進センター運営委員会を開会する。		
事務局 【議題1】事業報告および今後の予定について 事務局より資料1-1「第4回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整 G)」、資料1-2「第4回運営委員会 事業報告(事業企画 G)」、資料1-3「第4回運営委員会 事業報告(相談 G)」を説明。		
—委員からの質疑および意見—		
委員 すずらんスマイルプロジェクトの「出張まちなか保健室」の内容について教えてほしい。		
事務局 一般社団法人若草プロジェクトとのコラボ企画で、悩みを誰かに伝えたい、生きづらさを抱えている方が安心して過ごすことができる居場所である。出張まちなか保健室では、ヨガ教室やリース作りを実施した。		
委員 今後の予定に記載されている「国際女性デー街頭キャンペーン」の規模や内容はどのように考えているのか。		
所長 街頭において、相談先を記載したすずらんスマイルプロジェクトのカードを配布し、啓発するようなイベントを考えている。		
委員 すずらんスマイルプロジェクトの街なかすずらんサポーターとはどのような制度か。		
事務局 若年女性の支援に対する趣旨にご賛同いただける民間支援団体、社会貢献する企業、教育機		

	関、区民の方など、団体個人を問わず趣旨にご賛同していただける方が、街なかすずらんサポーターとして登録、連携して活動、といった趣旨の制度である。
委員	具体的に協力した内容を報告するのか。
事務局	登録申請書を提出していただくときに、SNS での発信、お店にすずらんスマイルプロジェクトのカードを置いていただくなど、活動内容を申告していただき、その内容を確認して、登録していく。ご希望に応じてお名前の HP での公表や、メルマガをお送りして情報提供させていただき、連携を広げていきたいと思っている。
委員長	サポーターを募るに当たり、目標設計した方がより推進力が高まると思う。
所長	民生児童委員など関係機関に案内していく予定。区民の方、企業、関係団体等でできることは違うと思うので、その人その人なりの活動をしていただく。
委員	すずらんスマイルプロジェクトの名前は認知されてきているが、活動内容が見えない。
委員長	その先の課題として何をやっているのか、活動内容を今後周知していく必要がある。
委員長	すずらんスマイルプロジェクトのターゲティング広告配信について教えてほしい。
事務局	今は 3 媒体(Instagram、LINE、ヤフー)で配信している。豊島区内 10 代 20 代の若年女性をターゲットに表示されるよう設定、支援窓口と相談を促す内容になっている。LINE はトーク画面上部の帯広告、タイムラインに配信。ヤフーは検索画面に広告として表示されている。
事務局	資料1-2「第4回運営委員会 事業報告(事業企画 G)」の説明
	—委員からの質疑および意見—
委員	「にじいろ★カフェ」について教えていただきたい。実施目的は当事者間の交流だと思うが、参加者 1 名だけでどのような様子だったのか。
事務局	講師は当事者の方の相談支援に関わっており、参加者の考えや辛さ、日頃のモヤモヤを読み解きながら、お話されていたと思う。当事者以外、職員は入っていないので、その程度でのご報告とさせていただきたい。
委員長	オフラインでクローズな空間の方が参加しやすいと思う。
委員	講座やイベントの申し込みについて、先着順と、抽選はどのような基準で分けているのか。また、抽選を今後徐々に増やしていくのか。
事務局	「親子であそぼう」はチラシの配架日時など、周知のずれによって、イベントを知るのが遅くなってしまった方が申し込みできず、参加をお断りしたことがあったので今回初めて抽選にした。基本は先着順だが、こういったものについては抽選制でいく考えである。
委員	「にじいろ★カフェ」の参加者 1 名は、同じ方だったのか。
事務局	個人情報を取らないという考えから、ニックネームでの参加と一般特定できないメルアドでの申し込みで実施している。同じ方かどうかは判別できない。
委員	これは区民限定か、何か縛りは？
事務局	私どもの講演・講座は区内区外の縛りは原則ないので、こちらについても一切縛りはない。
所長	「にじいろ★カフェ」は毎回テーマを変えて、4つのテーマでやっている。
委員長	豊島区として、もっと他の組織と連携すればいいと思う。今後そういったことが拡大していくポテンシャルはあると思った。どんな形でやるのがいいのか、まだ最適解が出ていないと思う

	が、あるということ自体が心理的安全性に繋がっていると思うので、開催すること自体に意義がある。
委員	共催事業 4 番の「モノが多すぎるあなたに！適正量を知って快適に暮らす」について、これだけの人が集まったのは何か理由があるのか。
事務局	分析はなかなか難しい。日常生活の中の「困っている、悩んでしまう」がテーマだから親しみやすかったのではないかな。実用的なものは希望者も裾野が広いのかなと思う。
委員	消費生活の分野と、差別化されるような部分は何かあったのか。
所長	今回初めて参加された方が 47%であった。様々なジャンルのものを実施することにより、他講座の紹介やセンターの認知度向上にもつながると考えている。 また、アンケートでは、「物の管理に時間を取られなくなることで自分の本当にやりたいことに労力を割け、1 人 1 人の個性や能力が尊重される多様性にあふれた社会になると思った」というような感想が多くあった。
委員	参加者の年齢層は？
所長	60 代が 6 名、70 代が 5 名、40 代の 4 名、50 代 2 名、30 代が 1 名だった。
委員長	自分にとって心地よい空間や環境を作るきっかけになるプロジェクトだったのではないかな。エポック 10 でどう再現していくのか、非常に参考になるプロジェクトだったと思う。
委員長	続いて相談グループをお願いします。
事務局	資料1-3「第4回運営委員会 事業報告(相談 G)」の説明
	—委員からの質疑および意見—
委員長	町内の掲示板をみて、現状豊島区として、女性の DV 事案に関する相談先を設けてはいるが、男性の相談窓口はまだ設けていない認識があるが。
事務局	男性も女性も性別問わず相談でき、365 日 24 時間相談できるところを掲載している。
委員長	東京都ではなく、内閣府の相談窓口を出したのは何か理由があるか。
事務局	昨年からやっているが、24 時間フリーダイヤルであること。東京都は、男性相談は曜日が限られているためである。
委員長	発信の仕方工夫が必要だと思うが、やっていることは理解できた。
委員	1 月 16 日に実施されたデート DV 予防研修を受けた方の感想を知りたい。予防研修の開催は非常に意味があると思っている。
事務局	「自分たちが暴力を容認しがちな意識を持っているということに気づいた。」「被害者と加害者の間に中立の立場に立ってしまっはいけないという先生の発言に少しびっくりした」など、やはり暴力を振るった人が悪いのだと、大人は毅然として子供たちに接していかなければいけないという話に、皆さんの日ごろ持っている意識と相まって、何か気づき、発見をしたという感想などが多かった。
委員長	この DV や虐待というところは非常にセンシティブな内容なので、しっかりとこの委員会含めて発信していきたいと思う。委員の皆様が届いている声を集めるだけでも意外と予防できる部分もあるのではないかな。

所長	講師の先生が、将来の DV を防ぐためには若いうちから教える必要がある、豊島区は 10 年前からデート DV 予防教室をやっているのも、それがだんだん花を咲かせるようになってきているのではないかとおっしゃっていた。
委員	中学 1 年生からデート DV 予防教室のプログラムが入った理由はなにか。
事務局	このデート DV 予防教室で、交際相手との関係に関するだけでなく、クラスのいじめがなくなり、学校の空気が本当に変わったと、先生からのご感想もいただいている。中学 1 年生から実施というのは、そういった期待があり希望されているのだと思う。学校からの希望である。
委員	それは小学校ではできないのか。早いぐらいでないと自分がダメージを受けているということに気がつくのが遅くなる。遅くなればなるほどリスクが高いと思う。
委員長	可能であれば早い段階から教育で入れられると、将来的にプラスである。
委員	プラスの方に循環すると諸外国でデータが出ている。
委員	それは性教育ではないか。
委員	デート DV は密空間暴力という話だと思う。何か性的な要素がなくてもできることがあるかと思う。
委員	エポック 10 の範疇ではないところの、いじめ防止みたいなのところの話か。
委員	エポック 10 の絡みでいうと、男性と女性の差がつき始めるのが小学校の中学年ぐらいからで、性教育と同じぐらいのスタートがいいのではないか。
所長	そもそも男らしく女らしくという、アンコンシャスバイアスがある。それは小さいうちからやっていかなければいけないのかなと考えている。
委員長	現状の各学校の判断でいろいろとチャレンジしている部分はあると思う。
委員	私立の中学校からの申し込みはあるか。
所長	すでにカリキュラムが組まれてしまっていたため今回はなかった。少しずつ進めていきたい。デート DV 予防教室について、来年度はもう少し広げる取り組みをしていきたい。
委員	資料 2「第 2 回エポック 10 フェスタ実行委員会報告書」の説明 プレフェスタを 5 月 31 日金曜日 11 時から 19 時、翌日 6 月 1 日土曜日 10 時から 15 時の開催を予定している。講師等々については、高際区長と村木厚子さんにお声を掛けている状況である。 キャッチフレーズは「今 声を上げ 動くとき」となった。 エポック 10 フェスタ 2018 の会場図をもとに今年度分の会場設営をしていく。設営自体は事務局と協力しながら、皆様も参加可能ならば協力をお願いしたい。
委員	プレフェスタでは、いつもエポック 10 コーナーを設けている。エポック 10 のコーナーはフェスタ実行委員ではなくて運営委員のコーナーになる。
委員長	我々エポック 10 としてどういうものを展示していくのか。従来、センターで掲示している掲示物を使っていくということだが、追加はあるのか。
事務局	昨年全体的なデザインを変えたのと、去年は 90 周年事業、30 周年のご案内、すずらんスマイルプロジェクトを新しく追加した。他に既存事業のバージョン変更は毎年行っている。

委員長	フェスタの課題としては、参加者がなかなか増えないということがある。また、そもそもとして、認知度が低いのではないかと。もっと豊島区の中の他のイベントとの連携が取れたらいいと思う。例えば、社会貢献活動見本市という約 50 の団体が自身の活動を紹介するイベントがある。今年度は難しいが、来年に連携が取れたらいいと思う。
所長	勝手なイメージだが、行政は横の連携がなかなか難しいと思っているがいかがか。
委員	すずらんスマイルプロジェクトは横連携で進めているが、縦割りのものがある。
事務局	参加するとした場合、エポック 10 フェスタのチラシができる時期に間に合うのか。
事務局	社会貢献活動見本市は例年 2 月に開催しているので、エポック 10 フェスタと半年ほどずれが生じてしまう。ただ見本市については比較的自由度が高いので、応募すれば参加できると思う。ただパネルを 2 枚掲示する形になるので、どうまとめるか、誰がどう仕上げるかというところが少し難しいところである。
委員長	パネル 1 枚でエポック 10 の活動を表現しないといけないので、新たなコンテンツを作らなくてはいいけない。
委員	凝ったものはいらないが、でもできればメインイベントの詳細ぐらい決まってあった方がいい。やはりエポック 10 の認知拡大という課題も含め、外に出た方がいいと思った。
委員長	これは初回の提案なので、この場で何か決めるとかではない。今後の委員会で何か継続的にテーマとして入れさせていただければと思う。
委員	プレフェスタの中身はもう決まったのか。
委員長	日程や開催するかしないかを決め、具体的なものは次の委員会で決めていくという予定。
委員	講師はもう決定か。
委員長	区長に打診はしているが、急な何か打ち合わせ等が入らない限りという感じである。そのため村木さんにもお声がけをさせていただいているという状況である。
委員	高際区長はほぼ確定か。
所長	直前にならないと確約できないので、第 2 候補で村木さんへ声掛けしている。
委員	5 月 31 日のプレフェスタには区長は参加されるのか。
所長	ぜひ参加したいとお言葉をいただいているが、スケジュールの都合もある。
委員長	今回はまず来ていただくことがきっかけの第一歩だと思う。来年はもう少し時間を長く取ってもらえるように、皆さんの声も反映させていけるように協力していけたらと思う。
委員長	では、運営委員会としてプレフェスタに参加するか否か。
事務局	資料(参考)アンケートの結果の説明
委員長	また展示をする方向性で良いか、皆さんのご意見を伺う。賛同いただける方は挙手をお願いします。 (全員一致)
事務局	展示物について、昨年はエポック 10 開設 30 周年記念誌の紹介のほか、区制 90 周年事業などを盛り込んだ。本年度については昨年度の内容を更新していく方向性で作らせていただければと思うが、いかがか。

委員	運営委員会とエポック 10 に関する、キャッチーな展示物があるといいと思う。目を引くポスター、A1 サイズくらいのものがいい。
委員長	本気でやるなら予算をとってきちんとデザインをかけた方がいい。所長、ここは難しいか。
所長	お金かけると、結局どこか予算を削らなくてはいけなくなる。
委員長	本来であれば、今の委員の中でこういうことができる人がいたら力添えをいただきたいというのが、この運営委員会であるということか。
委員	運営委員会の展示物を最初に作ったときは、運営委員が作成した。本来は委員が作成するものだが、事務局が協力してくれているというのが現状である。
委員長	事務局と相談しながら作ろうと思う。
委員	「今、X(旧 Twitter)の登録をしてくれたら、チョコレートをあげます」など、その場で必ずアクションしてもらうのが一番わかりやすいと思っている。一番の目的はエポック 10 を継続的に知ってもらうということなので、これだけの人と繋がれたという結果があるのが一番わかりやすい。
委員	アクションしてもらうのは、メルマガ登録がよいと思う。 「今これをやってくれたら」という参加型の企画を実施するのは大事。
委員長	プレミアム感がある方がきちんと協力してくれる。
委員	何か考えてもいいのでは。
委員長	事務局と相談しながらアップデートを頑張ってみる。 運営委員会は委員が自分たちの強みを活かしていくという場だと思う。自分は、地域のことや歴史についてはまだまだ勉強不足で、皆さんから教えていただいているということもあるので、こういった部分で貢献していきたいと思う。
委員	さっきのデート DV 事業のことは展示物に掲載されているか。
事務局	相談のご案内に合わせて掲載されている。
所長	来年度は相談と、デート DV など暴力防止関係の取り組みは分けて記載したいと考えている。
委員長	プレフェスタの参加については、参加するということで決まった。補足で事務局から何かあるか。
事務局	運営委員会としてイベントを実施するかどうか、参加される場合は団体としての参加になるので、この場で決定した上で、改めてご相談していただければ。
委員	フェスタの前にあと 1 回しか運営委員会がない。正直なところ、集まる機会がないので、運営委員会としてイベントを企画するのは難しいのではないかと。運営委員会としてイベントの企画はちょっと難しい。
委員長	やると決めたときには実行委員会と、運営委員会としてしっかりと推進していく必要があるが、それが難しいと私も思う。 イベントやりたいと思う方は挙手をしていただいてよろしいか。 (無) 今年は実施はなしで、来年度については改めて考えていきたいと思う。 エポック 10 フェスタについては以上である。
委員長	今後の運営委員会の開催日程について再確認させていただければと思う。事務局お願いします。

事務局	資料 3「令和6年度開催スケジュール(案)」の説明 今年度は 4 月、7 月、10 月、1 月第 3 週の木曜日に開催した。次回 4 月の開催を予定しているが、都合の悪い方もいらっしゃるかと思いますので、改めて皆様の希望を伺いたい。
委員長	次回の日程だけ押さえていけたらと思うが、次回は 4 月 16 日火曜日でいかがか？ —同意—
委員長	では、次回は 4 月 16 日火曜日 15 時からでお願いする。 それ以降のスケジュールについては、予定もあると思うので、改めて相談させていただきたい。 最後連絡事項を事務局からお願いする。
事務局	としま街なかずらんサポーターについて説明 運営委員の皆様にもサポーターになっていただければと思うので、ご検討いただきたい。
委員長	以上 本日の委員会はこれで閉会とする。
提出資料	資料1-1 R5 年度第4回運営委員会 事業報告(庶務・計画調整 G) 資料1-2 R5 年度第4回運営委員会 事業報告(事業企画 G) 資料1-3 R5 年度第4回運営委員会 事業報告(相談 G) 資料 2 第2回エポック 10 フェスタ実行委員会 報告書 資料 3 令和6年度開催スケジュール(案)